

○ 中央小学校の放送委員会では、新しく着任された先生方にインタビューし、昼の放送で紹介することになっています。佐藤さんたち放送委員は、新しくいらした校長先生にインタビューして、その様子を録画しました。

次の【インタビューの様子】を読んで、あとの問いに答えましょう。

【インタビューの様子】

佐藤さん 校長先生、ようこそ中央小学校へおこし下さいました。今日はよろしく願いします。

校長先生 よろしく願いします。

佐藤さん 校長先生は、すてきな趣味をおもちそうですね。紹介していただけますか。

校長先生 いいですよ。まず、これです。(大きな物を取り出して) 何だか分かりますか。

佐藤さん 分かりません。とても大きいですが、それは何ですか。

校長先生 これは、パドルです。川や海にカヤックという船をうかべて、このパドルでこぐのです。よいしょ、よいしょ、ってね。(何度かこいで見せる)

佐藤さん それは楽しそうですね。カヤックには、一人で乗るのですか。

校長先生 一人で乗ることが多いですね。湖に行くときなどは、つりざおを持って行って、魚をつるんですよ。家族はその魚を食べるだけで、カヤックにはあまり乗ってくれません。

佐藤さん ア 校長先生は、私たちと同じ中央小学校を卒業されたそうですね。

校長先生 はい、そうですね。

佐藤さん 校長先生は私たちの先輩せんぱいなのですね。とても光栄に思います。それでは昔の中央小学校についておたずねします。昔の中央小学校の全校児童は、何人ぐらいだったのですか。

校長先生 だいたい二千人ほどでした。学級も、一学年あたり十学級もあつたんですよ。

佐藤さん イ 今は一学年に四学級ですから、とても多いですね。昔は、休み時間をどうやって過ごしていたのでしょうか。校庭が混み合って大変だったのではありませんか。

校長先生 外でドッジボールをしたり、Sケンといって、地面に線を引いて宝物を奪い合うゲームをしたりしていました。いろいろな学級や学年の人たちが入ってきて、ひとつの遊びを二十人、三十人と大勢でやっていました。ですから、せまいけれども、そんなに困ったりはしなかったんですよ。

佐藤さん なるほど。一つの遊びを大勢でやると、校庭を広く使えるんですね。

校長先生 そうなんです。

佐藤さん 校長先生は、外で遊ぶことが多かったのですか。

校長先生 はい。晴れた日は外で飛び回っていました。雨の日には、本を読んだり、うでずもうをしたりしていました。とにかく遊ぶのが大好きな子どもでした。

佐藤さん 今の中央小学校にも、外で遊ぶのが大好きな人がたくさんいます。今も昔も、子どもは同じということですね。

校長先生 そうですね。今の中央小学校の子どもたちも、外で遊ぶのが好きだというのは、とてもうれしいことですよ。

(インタビューは続く)

